

事業事前評価表

国際協力機構アフリカ部アフリカ第三課

1. 案件名 (国名)

国名：マラウイ共和国

案件名：第二次中等学校改善計画フェーズ2

(Re-Construction and Expansion of Selected Community Day Secondary Schools (CDSS) Phase 2)

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における教育セクターの現状と課題

マラウイ共和国（以下マラウイ）は、1994年に初等教育（8年制）を無償化した結果、1年間で初等教育就学者数が1.9百万人から2.8百万人へと急増した。これに伴い中等教育就学者数も5万人（1994年）から2009年には24.4万人（総就学率21%）に急増している。マラウイ政府は成人教育用の施設をコミュニティ中等学校（CDSS: Community Day Secondary School）に格上げするなどして急増する就学者に対応してきたが、全国の中等学校（1,160校）のうちの半数以上、公立中等学校（769校）のうちでは約8割を占めるCDSS（620校）は一般教室の不足に加えて理科実験室や図書室など中等学校として最低限必要とされる施設が不足している。進学需要は年々増大しているにも関わらず、施設不足が進学を妨げる要因となっており、早期の改善が必要である。しかし、学校運営資金不足のため学校独自での大規模拡充は困難であり、また、マラウイ政府の予算にも限界があり急激な施設整備を行うことは容易でない。これを踏まえ、我が国は、先行案件「中等学校改善計画」（2010年～2012年）において、南部・中部にある6校のCDSSを対象として施設拡充を行っているが、北部・中部地域でも圧倒的に中等学校が不足していることから、北部・中部のCDSSの拡充についてマラウイ政府から要請がなされた。

(2) 当該国における教育セクターの開発政策と本事業の位置づけ

当国政府は中期国家開発計画「マラウイ成長開発戦略（Malawi Growth and Development Strategy: MGDS II）」において教育を9つの優先課題の一つに挙げており、中期教育セクター計画（NESP: National Education Sector Plan, 2008-2017年）では、中等教育に関して2007年と比較して2017年までに①中等学校教室数の増加（2007年3,754教室から2017年までに6,347教室）、②中等教育修了資格試験の合格率向上（2007年38.6%から2017年までに65%）等の目標があげられている。また、NESPを受けて2009年に策定された「教育セクター実施計画（ESIP: Education Sector Implementation Plan）2009-2013」では、中等教育に関する目標として年間20-34校のCDSSの施設アップグレード、女子寄宿舎建設等があげられており、当該事業はこれらの目標に寄与する案件として位置づけられる。

(3) 教育セクターに対する我が国及びJICAの援助方針と実績

我が国及びJICAはTICADIVで「基礎教育のアクセスと質の改善」を援助方針として掲げており、また国別援助方針のもと「基礎教育拡充プログラム」を展開している。同プログラム下における事業実績は以下のとおり。

【無償】

- ① ドマシ教員養成校支援計画（2004年度）供与限度額 5.68 億円、南部州ゾンバ県にて
- ② 中等学校改善計画（2010年度）供与限度額 11.98 億円、南部州・中部州にて 6 校

【技術協力】

- ① 中等理数科現職教員再訓練プロジェクト（2004-2007年）
- ② 中等理数科現職教員再訓練プロジェクトフェーズ2（2008-2012年）
- (4) 他の援助機関の対応

他の援助機関では以下の通り協力を行っており、本事業との相乗効果が期待出来る。

- ・ アフリカ開発銀行（AfDB）：既存の CDSS 施設 58 校の改修および拡張（2002-2012年）
- ・ 世界銀行：教育セクター支援プロジェクト（30 百万米ドル）の一環で既存の中学校（政府標準校）施設 4 校の改修（2005-2009年）

3. 事業概要

(1) 事業の目的（協力プログラムにおける位置づけを含む）

本プロジェクトは、マラウイ北部・中部にある 6 校の CDSS において施設拡充を行うことにより、同地域における教室不足の解消及び基礎的設備の整備を図り、もってマラウイにおける中等教育の質及びアクセスの向上に寄与することを目的とする。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

中西部：リロングウェ県（ムクイチ CDSS）

中東部：サリマ県（マテンジェ CDSS）、コタコタ県（リワラジ CDSS）

北部：ムズズ県（ゾロゾロ CDSS）、カタベイ県（ムパンバ CDSS）、ムジンバ県（エゾンドウエニ CDSS）

(3) 事業概要

1) 土木工事、調達機器等の内容

-土木工事：CDSS の教室、理数科実験室、図書館、家庭科室、寄宿舍、教員用宿舎、管理棟、運動施設、給水施設等の建設

-什器の調達：机、椅子、黒板、掲示板、棚、理科実験器具等

2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

本邦コンサルタントが調達代理機関と契約し、施工監理に関する技術サービスを提供する。ソフトコンポーネントは該当無し。

(4) 総事業費/概算協力額

総事業費 10.89 億円（概算協力額（日本側）：10.85 億円、マラウイ国側：0.04 億円）

(5) 事業実施スケジュール（協力期間）

2012年7月～2014年10月を予定（計28ヶ月。）

(6) 事業実施体制（実施機関/カウンターパート）

実施機関：教育科学技術省（Ministry of Education, Science and Technology）

(7) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類:C

② カテゴリ分類の根拠：既存の中等学校の拡充であり、環境や社会への好ましくない影響は殆どない。

2) 貧困削減促進: 特になし。

3) 社会開発促進(ジェンダーの視点、エイズ等感染症対策、参加型開発、障害者配慮等): 女子寮の整備等により女子生徒の就学促進に資すると考えられる。

(8) 他事業、ドナー等との連携・役割分担: 他ドナーとの重複がないことを対象校選定の条件としている。

(9) その他特記事項: 特になし。

4. 外部条件・リスクコントロール

(1) 事業実施のための前提条件

用地確保、敷地樹木伐採、建築確認許可、電気引込み等のマラウイ側負担事項が履行される。

(2) プロジェクト全体計画達成のための外部条件

2 外貨不足当の影響による物価高騰が起こらず、燃料・資機材が安定的に調達できる事

5. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1) 類似案件の評価結果

過去の類似案件では施設及び機材の維持管理体制や予算確保に課題があることが確認されている。

(2) 本事業への教訓

本事業では、現地人員により容易に維持管理ができる施設及び機材を厳選した。また、施設完成後の維持管理費の積算を示し先方による負担が可能であることを確認した。

6. 評価結果

以下の内容により本案件の妥当性は高く、また有効性が見込まれると判断される。

(1) 妥当性

中等教育進学需要は年々増大しているにも関わらず、施設不足が進学を妨げる要因となっているなか、フェーズⅡとしてより多くの CDSS 拡充・整備を行うニーズは極めて高く、妥当性が認められる。また、本案件は、日本政府が G8 カナナキスサミット、TICADⅣなどの機会に表明してきている基礎教育の機会・アクセス改善に対する支援に合致するとともに、MDGs の目標に対する取り組みであることから妥当性は高い。

(2) 有効性

1) 定量的効果

成果指標	現状の数値 (2011年)	計画値 (2017年 ⁱ⁾)
対象校の就学生徒数 (人)	1,014 ⁱⁱ	2,240 ⁱⁱⁱ
対象校における女子就学者比率 (女子寮を整備する 5 校のみ) (%)	45.2	50

ⁱ 本計画の完工は 2014 年を見込むが、完工後の入学者が最終学年 (第 4 学年) まで到達する完工 3 年後を目標年とする。

ⁱⁱ 2011 年 2 月調査時点の対象校在籍生徒数の合計

ⁱⁱⁱ 既存 24 教室及び転用 4 教室、増設 28 教室の合計 56 教室に 40 名/教室の生徒が新たに

入学すると想定した目標値

2) 定性的効果

- ・対象校の教室数が増加し中等教育へのアクセスが拡大することにより、対象地域の中学進学率、就学率の向上が期待される。
- ・中等教育カリキュラム実施に必要な施設・機材が整備され、教育の環境及び質が改善することにより、中等教育前期・後期修了試験合格率(前期:60.55%、後期:52.99%、2010年)の向上が期待される。
- ・女子寮が整備されることにより、遠距離通学、通学困難により退学を余儀なくされていた女子生徒数が減少し、就学率の向上に加え、内部効率の改善(留年率、退学率の低下等)が期待される。
- ・教員住居が整備されることにより、有資格教員の採用配置と定着条件が改善することから、配属教員に占める有資格教員の比率が向上し、教育の質が向上することが期待される。

7. 今後の評価計画

(1) 今後の評価に用いる主な指標

6. (2) 1) のとおり。

(2) 今後の評価のタイミング

- ・事後評価 事業完成3年後

以 上